



薬研



※「薬研」とは、昔本院で漢方薬を調剤する際に、薬種を砕いたり、粉末にするために使用した器具で、正面玄関に飾ってあります。
※ 当院は①日本医療機能評価機構②人間ドック健診施設機能評価の認定施設です。

5S ～病院のさらなるレベルアップに向けて～

おおばやし こういち
理事長 大林 公一
(神経内科)

新年明けましておめでとうございます。

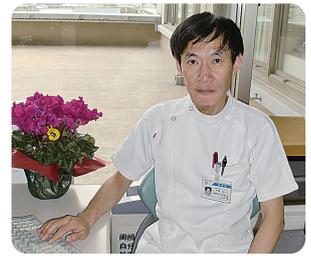
当院からの病院だよりとして、患者さんやご家族の方に院内から情報発信する目的で作ることになったこの薬研も、いろいろなご指摘を受けながら少しずつ成長し、ついに今回で51号(イチローの元背番号)になりました。

さて、本年度(平成24年)の当院スローガンは、「身につけよう5S、無くそう無駄」であります。

ところで、5SのSとは、いったい何のSでしょうか。Speedy(素早い)のSではありません。Specialty(専門)のSでもありません。実は、日本語の、整理、整頓、清掃、清潔、しつけ(職員のモラル向上)の日本語の頭文字である、5Sであります。この活動は、日本の生産業から広まり、今やはるか遠く、欧米の病院を含め、世界的にも、5S活動として広く病院にも取り入れられています。

特に最初の3つのS(整理、整頓、清掃)については、すぐに結果が目に見えてきますので、比較的簡単に達成できました。しかし、4つ目(清潔)、5つ目(しつけ)については、一応標準レベルに達しているのですが、さらなる向上に向けて努力しています。目標レベルの設定、さらなる向上については、モニターや外部からのスーパービジョンが必要ですし、チーム医療の精神が育っていることもさらなる向上には不可欠であります。

この5S活動は、もともと、茶の湯の精神など、日本文化に基づくものだという説があります。ものを美しく清潔に片付ける、人をもてなす、おもてなしという日本の伝統からきた活動だとのこと。



これからも、職員全員による5Sの更なる習慣化、PDCA(Plan=計画する、Do=行う、Check=行った成果をチェックする、Action=チェック結果を基に改良する)サイクルの定着による、さらなるスパイラルアップ(向上・改善=KAIZEN、この日本語も海外ではそのまま使われています)を目指して、スタッフ一同がんばってまいります。

今年は、人間ドックと病院、両者の機能評価認定を更新する予定です。関係各者皆様の、よりいっそうのご支援、ご鞭撻をお願いいたしまして、新年のご挨拶にいたします。本年もよろしくお願い申し上げます。

2012年12月10日:ノーベル受賞会見で、iPS細胞の生みの親、山中京都大学教授の「今日が始まり」というiPS臨床応用への新たな決意を述べた会見を感銘しつつ...

病院の理念

- 患者さん中心の医療
- 高水準の医療の提供
- 地域の健康を支える病院
- 働きがいのある職場づくり

患者・家族の皆様の権利

- 良質の治療を受け、安全が確保される権利
- 自己決定権および選択の自由の権利
- 尊厳を確保する権利
- 個人情報の機密保持と医療情報の開示を受ける権利
- 健康教育を受ける権利



コラム

新聞に出たあ!! ①

おおばやし せいいち
会長 大林 誠一



医者の名前が新聞に出るのは、大抵不祥事を起こしたりネガティブな記事として出ることが多いのだが、今回はそうではない。

2012年2月7日、日本経済新聞の文化欄「交遊抄」に、「胆のう先生」という記事が出た。その中で、私がオールインワン社社長の三谷広氏の腹痛の原因を診断・治療した話を芳情豊かに三谷氏に記していただいた。三谷氏は、グローバルに畜産・酪農家の経営の近代化をサポートする、業界ナンバーワンの方とその後知った。三谷氏と私は、病気や仕事、趣味、精神的な悩み等々話し合い、患者と医師の域を超えた交遊が生まれたのである。

さて、今年は、その他にも3月22日の読売新聞に腎臓リハビリを熱心に行なう病院として、全国で9つの中の一つとして本院が記述された。腎不全が進むと筋肉が衰え、心不全も生じやすくなる。予防のために軽い運動で体調を維持する腎臓リハビリテーションが注目されている。これらは不安やうつ等の改善、透析効率の改善、ひいては死亡率の低下にもつながる。

P3へつづく▶

TRIANGLE

～キナシ デキゴトロジー～

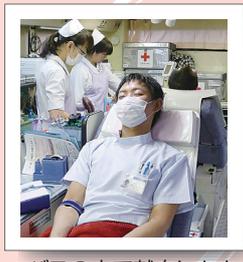
■キナシ大林病院における様々な出来事に対して、多方面の「角度(ANGLE)」から意欲的に接近しようとする「試み(TRY)」
■病院の立地→「川」「鉄道」「道路」に囲まれた、「トライアングル(TRIANGLE)地帯」

平成24年11月22日 消防避難訓練

平成24年11月2日 献血



▲献血前に問診を受けます。



▲バスの中で献血します。たくさんの方に協力いただきました。



▲消防訓練後、市消防局の方から総括がありました。

キナシ大林病院
すみれ保育所
だより

平成24年12月7日
クリスマス会



▲サンタさんからプレゼントをもらいました。

糖尿病センター長からの便り

5

～砂糖漬け 塩漬け防ぐ 奇跡の実～

今、問題なのは砂糖漬けによる糖尿病とその予備軍の増加と、塩分の摂りすぎによる高血圧患者の増加ですが、砂糖漬けと塩漬けから抜け出すことは難しい。特に砂糖はなかなかやめられないことより、アメリカでは「マイルド ドラッグ(軽い麻薬)」として認定されています。ちなみに、砂糖以外のマイルドドラッグは油だそうです。



糖尿病センター長
いしだ としひこ
石田 俊彦

しかし、私たちは、砂糖漬けと塩漬けから抜け出すことが出来る「奇跡の実」を持っているので、今回は砂糖漬けから脱却できる奇跡の実を紹介します。

それは「ミラクルフルーツ」です。ミラクルフルーツは、ミラクルベリーとも呼ばれ、西アフリカ原産のアカテツ科の果物で、コーヒー豆ほどの大きさの小さな赤い果実を実らせませす。それ自体は甘くなく、次に食べた物を甘く感じさせる特徴があります。ミラクルベリーには、ミラクリンと呼ばれる糖たんぱく質を含んでおり、果実を舌にこすり付けるようにすると、それが舌の味を感じる味蕾(みらい)に結合して、次に食べた物(特に苦味や酸味が強い物)を甘く感じさせる効果を発揮します。ミラクルベリーはインターネットでも購入出来るので、試してみてください。



地域連携室
ふくもと
福本 はつみ

地域連携室

医療相談

『地域連携室』をご存知ですか？

地域連携室では、患者さんが日頃頼りにしている地域の「かかりつけ医」の先生方と当院の医師との連携を密にすると共に、患者さんが安心して医療が受けられるよう医療相談室と統合し、よりよい医療を提供するために下記の業務を行っております。

○地域の医療機関(かかりつけ医)との病診連携

- ・ 紹介患者さんの受診・受療援助
- ・ 連携の医療機関への各種案内
- ・ 検査(CT・MRI・内視鏡検査等)の予約受付
- ・ 紹介医への検査結果及び、診療状況の報告

○医療ソーシャルワーカーとの連携

- ・ 受診時から退院まで、地域で安心して医療を受けられるよう対応
- お気軽にお声をかけてください。



透析

フットケア導入に向けて

平成23年末、透析患者数は30万人を越えました。

透析患者さんの高齢化や長期透析、糖尿病による透析が増加し、近年、足病変が問題となってきています。その多くは動脈硬化症によるもので増悪因子として煙草・飲酒など嗜好の増加、食生活の欧米化などが考えられます。

当院でもフットケアの導入に向けて取り組みを始めました。

透析センター 師長 まつなが みよこ
松永 美代子



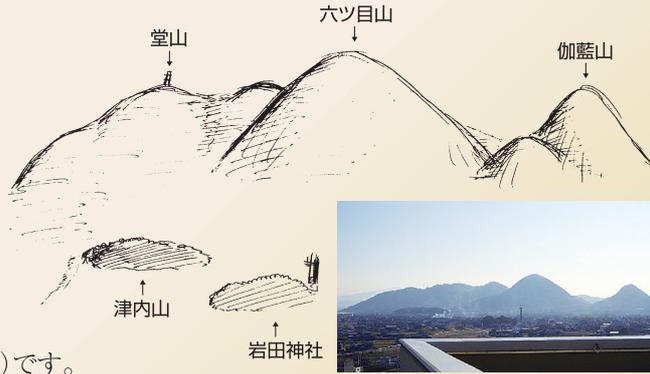
医師と共にチーム編成を行い勉強会を開催し、スタッフの知識及びスキルの向上、足病変に対する評価レベルの統一を図りました。

今後、患者さんの足病変に対する聴き取り調査や足の観察を行い、早期発見と悪化を防ぐために適切なケアが出来るようスタッフ一同、頑張っております。

笠居郷歴史さんぽ ⑤

～堂山・六ツ目山・伽藍山～

今回、取り上げるのは笠居郷の外の話になります。当院の南には、南東奥に讃岐山脈、北西に鬼無城で取り上げた袋山、そして南に見える山々が国分寺町の東側に広がる、堂山・六ツ目山・伽藍山(がらんやま)です。



「堂山」の山頂には、送電線と鉄塔が見えていますが、ここには中世の福家氏の山城跡がわずかに残っています。実はこの山、山頂にはもう一つ山城跡があり、国分寺福家の日抱神社から登って最初にたどり着くピークに戦国末期ごろの城跡があり、さきほどの福家山城と別に堂山城と呼ばれて区別してあります。

そして「六ツ目山」冗談みたいな山容に思わず笑みがこぼれますが、この南の山々で最も高いのが、317mのこの山。先の堂山は302mです。

最後に「伽藍山」。「がらん」と言うくらいですから、中世には寺や小さな庵がいくつもあったようです。別名「万灯山(まんどうやま)」とも言われ、北の小万灯山と仲良く並んでいる様子を11号線のほうから見る事が出来ます。この万灯山は万灯新居(末沢)氏の支配していた地域で、やはり山に城があったとされていましたが、現在のところ場所は特定されていないようです。

すわ ゆうすけ 諏訪 祐介
絵文/4階 看護助手

それゆけ薬研ちゃん ⑤

【特別編】 フキ&ゆう

—この先生はだあれ?—



人間Dock

人間ドック機能評価更新に向けて



人間ドック
あんどう りえこ
安東 利恵子

4年前、より良い医療を提供する仕組みを構築しようと、第三者機関が運営する『人間ドック学会機能評価』を受審し、平成20年に認定施設として認められました。

機能評価認定とは、人間ドックとして一定水準を満たしているか否かの審査を受けるもので、企業に置き換えるなら、ISO規格(国際標準規格)と同様な意味を持ったものと言えます。

評価項目は、施設自体の設備や認定資格に始まり、受診者の満足度など多岐に渡っています。初めて受けた4年前の審査では、当院に様々な人間ドックの仕組み、業務に対する考え方、取り組み方に意識改革をもたらしました。そこからの4年間、ゆっくりではありますが、着実に安全・環境・接遇などについて改善出来つつあると思っています。

こうした経緯からなる当院の人間ドック機能評価ですが、新たな基準の下に再審査を受け、再認定を目指すことになりました。現在、再度「より良い病院づくり」を見つめ直すため、職員一丸となってディスカッションを繰り返し、皆さんからいただいたご意見も踏まえ、より満足度を高める事の出来る人間ドックとなるようマニュアル改定の作業に取り組んでいます。

今後も、地域の皆さんにより一層「信頼される」人間ドックを目指し、努力を続けてまいりますので、宜しくお願いします。

人間ドック直通 電話087-881-3218



▶ P1 コラムのつづき ②

また、週刊文春11月8日号に、人間ドックで専門医研修と機能評価両方を持つ病院として本院が選ばれた(香川県では本院をいれて2病院のみ)。機能評価とは、検査内容や受診者の満足度等を調査員により、72項目をチェックされ、またX線や超音波の画像を診察した医師や技師、さらに総合的判断を下す医師と何重にもチェックを重ねて評価するもので、その上専門医研修施設とは勤務経験と技術のある医師をそろえた優れた施設という評価をいただいたことになる。

糖尿病予防として、本院糖尿病センター長 石田俊彦先生の主催するNPO法人「まんできん」は、連日四国新聞にぎわしており、本院の糖尿病友の会「ももたろう会」も12月2日の健康新聞にでるなど、いずれにしても、2012年は、キナシ大林病院の名が何度となくマスコミにぎわした素晴らしい年であった。



新 職員紹介

- ①職 種
- ②部 署
- ③採用日
- ④出身地
- ⑤趣 味



あ が ともよ
阿河 知世
①看護助手②4階病棟③10/16④香川県⑤映画鑑賞ドライブ



は せがわ かおり
長谷川 香里
①看護助手②4階病棟③10/16④香川県⑤カラオケ



かんばら あゆみ
神原 歩美
①准看護師②2階病棟③11/1④香川県⑤犬と遊ぶこと



よねだ よしえ
米田 良江
①眼科検査員②眼科③11/19④香川県⑤ピアノ・絵画



まつおか ゆうこ
松岡 悠子
①看護師②5階病棟③12/3④香川県⑤旅行



心臓病・腎臓病・糖尿病の教室を行っています。

心臓病教室	と き 毎月第4金曜日午後1時15分～2時 と ころ 3階会議室
腎臓病教室	と き 毎月第4土曜日午後1時～2時 と ころ 3階会議室
糖尿病教室	と き 毎週金曜日(第4金曜日を除く)午後1時20分～2時 と ころ 4階カンファレンス室

*当院では、患者さん向けに各教室を行っています。関心のある方はどなたでもご参加下さい。

えんげ 嚥下食について

栄養科 調理師 ささき まりこ
佐々木 真理子



私達は普通に食事をしていきますが年を重ねていくと食べられない物が(硬い物等)出てきます。

当院では、嚥下障害の方に調理した物を刻んだり、ミキサーにかけて食べ易くしています。それをもう一歩進んで、見た目においしそうと感じられ、飲み込み易い食事を提供できるようにしたいと思います。

ソフト食と言われる嚥下困難な方の食事が実施されています。見て何を食べているか分かり、飲み込みも良くなっています。もっとたくさん食べてもらえる様、取り組んでいきたいです。



12月19日(水)のクリスマスコンサートで販売したCDの売上げをユニセフに寄付しました。ご協力ありがとうございました。

キナシ大林病院 ハート合唱団

声・こえ・Feed back・フィードバック

御意見箱に寄せられた皆様方のご意見と、病院長からの返答を抜粋で記載します。
(期間:平成24年10月～12月)

- Q 入院中している人のマナーがちゃんと出来ていない。携帯の使用やテレビの見方などきちんとしてほしい。
- A このような事例があった場合は、スタッフにお声をかけてください。こちらから声をかけるようにします。
- Q 傘たてに傘が残っていて見苦しい。しかも、ほこりで汚れている。
- A 早急に掃除を行います。このような事がないよう清掃を徹底してまいります。
- Q 今回初めて入院しましたが、大変サービスが良く、喜んでます。ただ一つ言わせてもらうなら、ベットシーツは3日くらいで取り替えてもらえれば最高です。
- A シーツですが、当院は週1回交換しています。また、汚れたりした場合は、その都度交換しています。
- Q 入院患者の家族です。本人は寝たきりで、意識ももうろうとしています。だからといって、看護師さんがきつい言い方をするのは止めて下さい。
- A 申し訳ありません。スタッフの言葉遣いなどは、きちんとする様教育をしていましたが、徹底できていなかったようです。これからは、患者さんが少しでも気持ちよく過ごしていただけるよう、教育をしてまいります。
- Q 骨折して入院していましたが、肉親にも勝る病院の方々の親切な介護のおかげで、希望が持てました。本当にありがとうございます。感謝しています。
- A ありがとうございます。このお言葉に恥じぬよう、これからも職員一同努力してまいります。

おめでとうございます



臨床心理士の徳田知子さんが、香川県精神保健福祉協会会長から「精神保健福祉の向上に寄与した」として表彰されました。

本当におめでとうございます。

●徳田知子さんより一言●

臨床心理の仕事に従事してから、もうすぐ20年になります。他の人より社会参加が遅かった分、今まで以上にチーム医療の一員として病院内外で貢献したいと考えております。

診 療 実 績

	H24年	9月	10月	11月
外来患者数		13,089 人	13,871 人	13,843 人
新入院患者数		152 人	180 人	186 人
退院患者数		166 人	175 人	184 人
地域医療支援病院紹介率		30.3 %	28.6 %	31.4 %
救急車搬入件数		34 件	30 件	32 件
救急車搬入後の入院数		16 人	14 人	21 人
手術件数		47 件	54 件	66 件

編集後記

この「薬研」は平成6年にキナシ大林病院の広報誌として創刊しました。その後6年間の休刊を経て、平成16年に新病院移築を機に復刊して今に至り、今号で51号となります。ご協力頂いた方々には、深くお礼申し上げます。今後も本院の発展と共に、皆さんに愛される情報誌となりますようご協力をお願いします。(T)

医療法人財団博仁会
キナシ大林病院

〒761-8024 香川県高松市鬼無町藤井435-1
TEL087-881-3631(代表)FAX087-881-8867
地域連携室 TEL087-881-3676(直通)FAX087-882-3539
人間ドック TEL087-881-3218(直通)FAX087-881-8020